

緑の風 FAX版



JR 東労組ホームページ

No.14 2021年8月9日 JR東労組

安全・命を最大の価値基軸に「職場と仕事と生活」を守るため 仲間と共に未来を切り拓く 8・9 フォーラム アピール

JR 東労組は、8月9日に『安全・命を最大の価値基軸に「職場と仕事と生活」を守るため仲間と共に未来を切り拓く 8・9 フォーラム』を、新型コロナウイルス感染防止の観点から、本部会議室を本会場とし、リモート会議システムを活用して開催した。

今フォーラムを迎えるまで、JR 東労組は、2020年2月に「新生JR 東労組運動宣言」を掲げて組合員と共に運動をつくり出してきた。さらには赤字・コロナ禍を乗り越えるため「雇用と職場を守るためのJR 東労組緊急提言」を打ち出し、職場から取り組みを行ってきた。

今フォーラムでは、これまでの議論、実践、社会情勢も踏まえ、中央本部、部会、バス本部から、働きやすい職場の実現を目指した提言を発表し、参加者全員で活発な討論をつくり出した。そして、職場で発生しているあらゆる問題を共有化し、現実を踏まえた上で将来展望を切り拓くために組織として団結を強化して立ち向かっていくことの意味統一を図った。

一方 JR 東日本は、2020年度決算でのJR 発足以来初の赤字以降、2021年度第1四半期も赤字という厳しい状況が続いている中、ウィズコロナ・ポストコロナ社会に適応した JR 東日本グループをめざして「変革のスピードアップ」を謳い、JR 東日本構造改革を大きく打ち出している。そして、少子高齢化、ITの進展、お客さまのニーズに合わせて働き方を変化させていくとして、施策を矢継ぎ早に示してきている。

しかし、職場現実には、コロナ禍での対応などに疲弊し、閉塞感が漂い、会社が施策を打ち出すスピードに追いつけていないことが今フォーラムでも明らかになった。施策を担い、働くのは私たち労働者であるが、施策内容の説明が不十分にもかかわらず実行することを求める会社の姿勢は、「黙って従え」と言っている状況ではないか。そのような姿勢を許すことなく、「安全・健康・ゆとり・働きがい」をもとに要求を掲げ、施策に真正面から向き合っていくことは変わらない。

職場には多くの課題が山積している。社友会では解決することができないために、組合員・社員が会社に対して疑問や不満などを言えば、不当労働行為やハラスメントで押さえつけるなどは以ての外である。JR 東労組は、職場現実を踏まえ、是々非々の姿勢で立ち向かっていかなければ、私たちの「職場と仕事と生活」を守っていくことはできない。

「安全がトッププライオリティ」としている中、命をも脅かす重大な問題が発生している。会社は、発生している事故・事象を組織事故として捉え、責任追及ではなく原因究明を徹底し、安全第一の職場をつくり出すべきである。しかし、職場で発生している様々な事象を共有すればするほど、会社姿勢は危険な状況に陥ってきているという強い危機感を抱かざるを得ない。今私たちが安全風土の再確立に立ち上がらなくてはならない。

私たち労働者一人ひとは弱い立場である。だからこそ労働組合に結集し、組合員の雇用と利益を守るため、相対しているのである。今こそ、JR 東労組への結集を呼びかけよう！そして「職場と仕事と生活」を守るために、一人ひとりが立ち上がり、さらなる組織強化・拡大を実現し、目の前に立ちだかるいかなるものにも屈することなく、全組合員で立ち向かっていこうではないか！

以上、アピールする。

2021年8月9日
東日本旅客鉄道労働組合